

平成 26 年 12 月 7 日 第 3 回熊本県医師会館建設設計者選定委員会を開催し、最優秀者、優秀者を選定いたしました。

平成 26 年 12 月 11 日 理事会において最優秀者、優秀者を決定いたしました。

最優秀者 伊藤喜三郎建築研究所・今村雅樹アーキテクツ設計共同企業体
優 秀 者 環設計・吉武設計共同企業体

熊本県医師会館建設設計者選定委員会

2014 年 12 月 7 日

熊本県医師会館建設設計業務プロポーザル審査講評

熊本県医師会館建設設計者選定委員会

委員長 村上 良知

熊本城を正面にみる絶好の地に、会員の活動拠点としてふさわしい新熊本県医師会館の設計者を選定するために、公募型プロポーザルを実施しました。

設計者選定委員会（14 名）は、これまで 3 回の委員会を開催し、審議を重ねました。第 1 回の委員会は、参加表明書を提出していただいた中から、事務所の実績、規模等を勘案して選定しました。ここに技術提案書の提出を依頼し、20 社から提出されました。第 2 回の委員会は、この 20 社の技術提案書を慎重に審議し、総合的に判断してヒアリング対象者 6 社を選定しました。第 3 回の委員会は、この 6 社に対して、ヒアリング（プレゼンと質疑応答）を実施し、これを踏まえて、各者の技術提案について多様な視点から審査をおこないました。このような過程を経て、最優秀者として「伊藤喜三郎建築研究所・今村雅樹アーキテクツ設計共同企業体」を、優秀者として「環設計・吉武設計共同企業体」を選定しました。

最優秀者案は、繁華街とお城を結びつける「パサージュ」や、軽快な外観（特にお城側）など、医師会館が県民への開放やまちづくりに寄与することを重視した提案となっています。機能的には、ホールを低層階に設けることによって県民の利用に配慮するとともに、明快な構造により柱の少ない執務スペースを可能にし、将来の変化に対応できる工夫などが評価されました。また、ハザードマップによる河川氾濫の可能性を層構成に反映するなど、他者の提案には見られない提案など周辺環境の調査が行き届いており、設計を委託するに十分な能力があると評価されました。

優秀者案は、1・2階部分の半戸外のオープンテラスやお城に面した各階のテラスやロビーなど様々な機能をもった「アイテラス」を設け、各階の執務空間からだけでなく、ホール的一般利用者にとってもお城側の眺望が可能になっていると同時に、これらの積層した各階のテラスがリズムカルで軽快な外観となっている。

コンパクトなコア、執務スペースの使いやすさ、各階の執務空間からの眺望の配慮、コスト削減の綿密なスタディに基づいたタワーパーキングや施工提案等が評価されました。

今回の技術提案には、新しい時代の医師会の活動拠点として十分な機能を備えるとともに、会員のシンボルとなるデザインであることを前提として、さらに、日本三名城のひとつである熊本城に隣接した絶好の立地や眺望を生かす方策、できる限り多くの駐車場の確保、県民が利用しやすいホールの設定など、厳しい条件に対する提案が求められました。難しい課題であったにもかかわらず、本プロポーザルに参加され、貴重な時間とエネルギーを費やして真剣に取り組み、優れた提案をしていただいた関係各位に敬意を表するとともに、深くお礼を申し上げたいと思います。

今後、選定された技術提案を基に、新しい時代にふさわしい医師会の活動拠点として、また会員の誇りとなる医師会館となるよう検討を進められることを祈念します。